

TEAM MYODEN



市川市立妙典中学校 令和3年度生徒指導だより第5号 7月2日

教育目標：未来を拓く妙典中生徒<明るく・正しく・美しく>

目指す生徒：◎ふれあいを大切にする生徒 ◎進んで学ぶ生徒 ◎頑張りぬく生徒

◎ 「練習」の大切さを知る！

7月から総体が始まります。総体ではきっとどの部も3年生のひたむきさ、笑顔、涙などを目の当たりにすることと思います。勝負には勝ち負けはつきものです。勝っても負けても、目からこぼれ落ちる涙は、日頃のしっかりとしたつらい練習の積み重ねがあるからこそ流れるのです。いい加減にやってきたのでは、決して流れるものではありません。そして、**日頃の「練習」を一生懸命努力し、全力でやった人には、勝っても負けても、「一生自分の宝物となる何か」が残るのです。**その「宝物の何か」が多ければ多いほど、部活動を頑張った証（あかし）となります。

みなさんは、部活動でも勉強でも「練習」という言葉をよく使うと思います。練習の「習」は、訓読みすると何と読みますか？そうです、「なら（う）」と読みます。では、「練」は、訓読みすると何と読みますか？「ねる」と読みますね。練るとは「粘土や粉を練る」の練ると同じ意味です。練るとは、同じことを何度も繰り返す作業です。**ですから、練習とは習い、そしてその習ったことを何度も練ること、何度も繰り返すことなのです。**今、授業でも部活動でもあらゆる基礎を習っていると思います。後は、学校や家で何度も何度も練ることです。

この練るという作業をしなければ自分の力にはなりません。例えば、うどんを作る時、何度も何度も粉を練らなければ、おいしいうどんはできません。うどんの練り方について、ある本（『森の中の海』 宮本輝著 光文社）にこんなことが書いてありました。うどんを打つとき、薄く伸ばしたのを3つにたたんで、また伸ばします。それを30回繰り返すのだそうです。

そうすると、うどんの層はいくつになると思いますか？

答えは、「3の30乗です。」

つまり、「205, 891, 132, 094, 649」の層 になるのです。



うどんは、この約2百6兆の層の中に、昆布と鰹節、醤油で作ったうまい汁が染み込むのです。総体や部活動、そして授業で習ったことを、3の30乗の層ができるくらい練習してください。繰り返して練習してください。そして、その層にダシが染み込むようにしてください。ダシとは、みなさんの保護者や兄弟、友達、先生、今まで出会った人達、これから出会う人達も含まれます。その人達との出会い全てが、みなさんのダシになります。**3の30乗の層に、たくさんのダシを染み込ませ、味のある人間になってほしいと思っています。**

◎靴下の色について

生徒総会で提案された靴下の色についてですが、職員会議で検討した結果、白・黒・紺（無地またはワンポイント）を認めることとします。2学期より開始とします。ただし、式典時はこれまでと同様、白色の長い靴下とします。



◎体操服の変更の検討

全校でジャージ・体操服の着心地や機能性等のアンケートをとった結果、「両方変更したい・体操服のみ変更したい」の合算が、およそ約半数近くありました。

そこで、体操服の変更について検討をしたいと思っています。新しいデザインのサンプルを実際に見てもらい、再度アンケートを実施してその結果によって決定をします。また、1、2年生の保護者の方には7月14日（水）および15日（木）の保護者会にてサンプルの紹介をします。お手数ですが、保護者の方にもアンケートにご協力いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

◎総体の応援について

今年度は一般生徒の応援は不可となります。応援したい気持ちも分かりますが、応援に行ってしまうと、逆に迷惑となってしまいます。応援したい友人には学校で声をかけるようにしましょう。

◎あなたのそばにはいますか？

その人の前にでると
絶対うそが言えない
そういう人を持つといい
その人の顔を見ていると
絶対にごまかしが言えない
そういう人を持つといい
その人の眼を見ていると
心にもないお世辞や
世間的な愛想は言えなくなる
そういう人を持つといい
その人の眼には
どんな巧妙なカラクリも通じない
その人の眼に通じるものは
ただほんとうのことだけ
そういう人を持つといい
その人といるだけで
身も心も洗われる
そういう人を持つといい
人間にはあまりにも
うそやごまかしが多いから
一生に一人は
ごまかしのきかぬ人を持つといい
一生に一人がいい
そういう人を持つといい
(相田みつを「にんげんだもの」より)